

公開フォーラム

地震・津波・洪水と文化財

— 台風12号被災資料保全活動の経験から —



救出された仏像（那智勝浦町）

日時 2012年2月19日(日)
13:30 ~ 16:30

場所 和歌山大学まちかどサテライト
(和歌山市本町2-1 フォルテワジマ6階)

主催 和歌山大学紀州経済史文化史研究所
歴史資料保全ネット・わかやま

後援 和歌山大学防災研究教育センター

まちかどサテライトに駐車場はありません。

公共交通機関でお越しいただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください。

申込不要
入場無料

関心のある方なら
どなたでも



▲会場案内図

JR和歌山駅・南海和歌山市駅から和歌山バス
「本町2丁目経由」に乗車。本町2丁目バス停
下車すぐ(約10分に1本の頻度で運行)

地震・津波・洪水と文化財

—台風12号被災資料保全活動の経験から—

東日本大地震では津波によって海水・ヘドロの被害を受けた歴史資料の救出が注目され、現在も資料の保全活動が継続されています。一方、和歌山県では、昨年9月の台風12号による洪水で、紀南地方を中心に大きな被害が出ました。人命・財産が失われただけでなく、人々の生活の痕跡である歴史資料（文化財・諸記録）の流失・廃棄という事態も生じました。このような状況に対し、「歴史資料保全ネット・わかやま」（有志団体）と「豪雨被害歴史資料保全対策プロジェクト」（和歌山大学紀州経済史文化史研究所内）が設置され、連携して保全活動に取り組みました。

近い将来、和歌山県には必ず地震・津波が襲ってきます。歴史資料に対する被害をどう少なく食い止めるのか、そのためにはどういう対策が必要か。洪水の経験をまとめ、地震・津波に対する教訓を得たいと考え、取り組みの成果と今後の課題を公開で検討するフォーラムを企画しました。多数のご参加をお待ちしています。

■趣旨説明

和歌山大学豪雨被害歴史資料保全対策プロジェクト責任者
歴史資料保全ネット・わかやま代表 藤本清二郎



■報告1 被災資料の確認調査について 蘇理 剛志
前田 正明



■報告2 被災資料の救出と保全修復 藤 隆宏

■汚損資料の洗浄・乾燥実演

歴史資料ネットワーク副代表 近大姫路大学講師 松下 正和



■講演1 「地震・水害と地域歴史遺産」

歴史資料ネットワーク代表 神戸大学大学院教授 奥村 弘

■講演2 「組織論から技術論へ

—被災文化財に対して誰が何をできるのか—

東北学院大学准教授 加藤 幸治

■提 言

写真上：思い出品の保全修復作業

中：学生による仏像のクリーニング作業

下：被災資料

連絡先 和歌山大学紀州経済史文化史研究所

〒640-8510 和歌山市栄谷930 TEL：073-457-7891 FAX：073-457-7890

当日のみ 073-488-2888 e-mail：hisai-shiryo@center.wakayama-u.ac.jp